

# 三遠南信サミット 2013 in 南信州 サミット宣言

San-En-Nanshin SUMMIT

第 21 回三遠南信サミット in 南信州では、「新しい連携体制の実現に向けて～三遠南信連携の発展と越境連携地域交流～」をテーマとし、各分科会において、現在の状況、課題を検証の上、今後の展開に向けた取り組みについて議論をしました。

私たち三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、新たな連携に向け、本日のサミットでの議論を踏まえ、次の事項に重点を置き、県境広域連携の先駆者としての自覚を持ち、事業の推進に取り組みます。

- 1 三遠南信自動車道の一部供用開始により、地域医療の充実、産業・観光の活発化等整備効果が見られます。また、大規模災害時には、「命をつなぐ道」として効果を発揮することから、全国ミッシングリンクに位置づけられる本道路の早期完成の重要性を再認識しました。

圏域の振興・発展のため、三遠南信自動車道の早期完成全線開通、リニア中央新幹線の早期開業、さらに浜松三ヶ日・豊橋道路、三遠伊勢連絡道路の実現を目指し、三遠南信地域連携ビジョン推進会議を中心とし、地域一体となった提言活動等を進めます。

- 2 地域の強みである産業基盤を最大限活かし、「三遠南信地域基本計画」や「地域イノベーション戦略推進事業（国際競争力強化地域）」による広域連携や産学官連携を一層強化し、国際的視野に立ち、オープン・イノベーションによる技術革新、成長市場へのチャレンジ、人材育成を推進し、地域産業の競争力強化、新産業の創出を目指します。

また、三遠南信地域内の大学連携については、産官金との連携による、人材育成等について議論の場を設けることなどを通じて、引き続き検討してまいります。

- 3 「塩の道エコミュージアム」の形成に向け、自然、歴史、文化、産物など地域資源を見つめ直し、それらを活かした三遠南信の魅力の発信力を高め、地域固有の商品・サービスの提供により、三遠南信地域における持続的な観光客誘致等を促進します。

- 4 中山間地域を活かす流域モデルの形成に向け、各地域の定住促進施策等の推進のため、人・ものの交流・連携を図るとともに、情報発信体制の整備・強化を進めます。

また、地震や台風等による、広域的または局地的な災害に対応するため、県境を越える防災体制の強化について相互連携して取り組み、安全・安心な地域の形成を推進します。

- 5 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、現在の組織の体制強化を図るために平成 26 年度中に新しい体制に移行します。今後は、新しい体制のSENAと平成 28 年度を目途とした広域連合設置を検討する各自治体との間で、将来的な協力体制構築に向けて協議を進めます。

これらの取り組みを、ここに集うすべての主体が確認し、第 21 回三遠南信サミット 2013 in 南信州のサミット宣言といたします。

平成 25 年 10 月 30 日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議  
三遠南信サミット 2013 in 南信州